

安全安心に決意新た 消防団などで出初め実施



関係者・市民らが見守る中、力強く観閲行進する団員たち

市消防団（佐藤芳之団長）と防犯指導隊（須藤健治隊長）、交通安全指導隊（渡邊勇喜隊長）では、平成27年の出初め



市長らから服装点検を受ける防犯指導隊員

式をそれぞれ実施しました。消防団の出初め式は、1月11日に市消防防災センターで実施。消防団員約1100人が九つの支団ごとに隊列を組み、登米祝祭劇場から防災センターまで力強く行進しました。消防ポンプ車を使った放水訓練や救助訓練なども披露されました。防犯指導隊と交通安全指導隊では、1月10日に中田総合体育館でそれぞれ出初め式を実施。新年に当たり、市民の安全安心を守る思いを新たにしていきました。

とよま油麩井、金賞

南三陸きらきら井と同盟

第1回全国井グランプリ（一般社団法人全国井連盟主催）で、本市の「とよま油麩井の会（海老名康和会長）」が、出品の「とよま油麩井」が、最高賞の金賞を受賞しました。井グランプリには全国から1300の井が出品。その中から200井が選定され、ファン投票の結果、とよま油

麩井が金賞に選ばれました。12月19日には登米町の「海老名蔵の資料館」で記者会見が開かれ、共に金賞を受賞した南三陸キラキラ井と「宮城どんぶり同盟」の結成を発表。海老名会長は「震災復興とまちの活性化を目指し、ご当地井のネットワークを広げていきたい」と話しました。



井グランプリ金賞受賞と「宮城どんぶり同盟」結成を報告する、とよま油麩井の会の海老名会長（右）と南三陸町飲食店組合の高橋修組合長

みやぎ食育大賞受賞

伊豆沼農産 取り組み評価

食育の取り組みを積極的に実践している個人や団体などを表彰する「みやぎ食育表彰」（県主催）。3回目となる本年度、最高賞の「みやぎ食育大賞」に本市追町新田で農畜産物の加工販売をしている伊豆沼農産（伊藤秀雄代表取締役）が選ばれました。伊豆沼農産は、伊豆沼周辺

に存在する豊かな資源を活用。地元の新田小学校にコマ作りの学習田を開放したり、都市部に住む家族などを対象に、年間を通じてコマ作り体験や生き物調査を実施したりしています。同表彰では、大賞となった伊豆沼農産のほか、県内の2団体が奨励賞を受賞しました。

お米コンテスト金賞

千葉さん出品のササニシキ

「2014お米日本一コンテスト in しずおか」（実行委員会主催）で、石越町稲作研究会の千葉政志さん（第14区）出品のササニシキが、全体のトップ30となる金賞を受賞しました。

味評価機器による審査で上位75点まで絞られ、食味鑑定士らによる最終審査で上位30点が金賞以上に選ばれました。ササニシキでの金賞は千葉さんを含め2人だけです。3回目の挑戦で初入賞となった千葉さん。「来年は日本一を目指したい」と力強く話していました。



12月26日、布施孝尚市長に金賞受賞報告に訪れた千葉さん（左）

37店が自慢の味競う 郷土料理「はっと」を堪能



お目当ての「はっと」に舌鼓を打つ来場者。当日は約2万6千人が訪れました

登米市の郷土料理「はっと」の祭典。11回目を迎える「日本一はっとフェスティバル」が12月7日に開かれ、会

場の迫中江中央公園は大勢の人でにぎわいました。当日は、自慢の「はっと」を提供する37店舗が出店。1杯200円から300円で販売され、訪れた人たちはお目当ての「はっと」に舌鼓を打ちました。



初の全国大会出場に向けて意気込む佐沼プラタナスJrの選手たち

全国大会の活躍誓う

佐沼プラタナスJr初出場

「出場する2大会では激しいプレーで全国1位を目指します」。本市迫町のラグビースポーツ少年団「佐沼プラタナスJr」が初の全国大会出場に向け意気込んでいます。出場するのはプラタナスJrの小学6年12人（佐沼小10人、加賀野小・浅水小各1人）です。本年度の活躍が認めら

れ、二つの全国大会に東北代表として選抜。大会は2月1日に東京・秩父宮ラグビー場で、2月28日に大阪・近鉄花園ラグビー場で開かれます。1月7日、出場報告に市役所を訪れたメンバーに布施孝尚市長は「初の全国舞台ですが、思う存分プレーしてください」と激励しました。



寒空の中、フェスティバルを熱く盛り上げた「よさこい」演舞

はっと購入者の投票で決まる「はっと大賞」には、みやぎ東和開発公社（登米市）の「またいたけ油麩はっと」が、準大賞には鮪信（同）の「海鮮はっと」、第3位にチャチャワールドいしこし（同）の「牛スジはっと」がそれぞれ選ばれました。